

# 佐賀県ヨットハーバー

## 令和5年度実施報告書

運営事業体 SAGA MIRAI プロジェクト J V

提出年月日：令和6年6月20日

## 目 次

1. 管理運営の基本方針
2. 管理運営組織の体制
3. 年間の事業計画及びスケジュール
4. 提案型事業について
5. 管理運営業務に関する収支計画

## 1. 管理運営の基本方針

佐賀県ヨットハーバーは、開設から35年間学生ヨット競技の強化や地域の方のヨット教室など、県民の海洋性スポーツ・レクリエーション施設としての役割を果たしてまいりました。一方で、SSP構想とKMAP（唐津マリンアクティビティ構想）の新たな取組みが始まり、公共施設の在り方について変化がもたらされております。当JVでは佐賀県の取組みに沿った運営をおこなうとともに、海洋性スポーツ・レクリエーションの振興、佐賀県の地域活性化・観光促進への取組み、地域と連携した海洋・地域創生文化の次世代への継承を行うため、下記コンセプトで運営を行って参ります。

### 「SAGA MIRAI プロジェクト」

広く開かれた安全で安心なハーバー運営による地域の活性化と観光振興

#### 【管理運営ポリシー】Management Policy

1. 海洋性スポーツ・レクリエーションの振興の場としてだけでなく、西の浜ビーチを活用し県民の様々な活動を体現できる場として、地域と連携した親水性事業、SDGs活動、災害学習事業を行います。
2. 県民がくつろぎ、様々な体現が出来る場所を次世代に継承していくため、地域の組合や自治体と連携しながら子供たちの「育ちと学び」の社会インフラとして活動します。
3. 地域の魅力を発見し地域振興と観光促進を図るため、エコツーリズムを推進し環境に配慮した持続可能な都市環境を次世代へ継承します。

#### 【6つの運営コミットメント】Management Commitment

##### 1. 安全・安心・快適な公共施設としての役割 【公共性】

- 多様性を尊重し、県民の様々な活動が実現できる地域密着型公共施設
- 誰もが利用しやすいハーバーづくりと環境保全の取組み

##### 2. 地域と連携し、共に発展するハーバー 【地域・観光】

- 佐賀県や唐津市の地元地域と連携したKMAP（唐津マリンアクティビティ構想）の取組み
- 唐津里浜づくり推進協議会や佐賀玄海漁業協同をはじめとする地域との連携

##### 3. 専門企業の連携と効率的なハーバー運営 【専門性・効率化】

- 専門企業の連合により、完成度・実現性の高い運営を行います。
- プロフェッショナルな技術を活用し、施設の長寿命化を図るハーバー運営を行います。

##### 4. 海洋性スポーツ・レクリエーションの振興 【海洋性スポーツ・レクリエーション】

- 海洋性スポーツの底辺の拡大
- 佐賀県ヨット連盟・佐賀県スポーツ協会・唐津市ヨット連盟と連携したSSP構想の推進とセーリング選手の強化・ジュニアの育成を行い、「SAGA2024」の成功への協力

##### 5. 危機管理意識と防災への取組み 【防災】

- 唐津市・唐津海上保安部・唐津市漁港と連携し、安心安全を提供するハーバー運営
- 防災の技術やノウハウを活かした次世代への防災学習による災害に強い地域活動

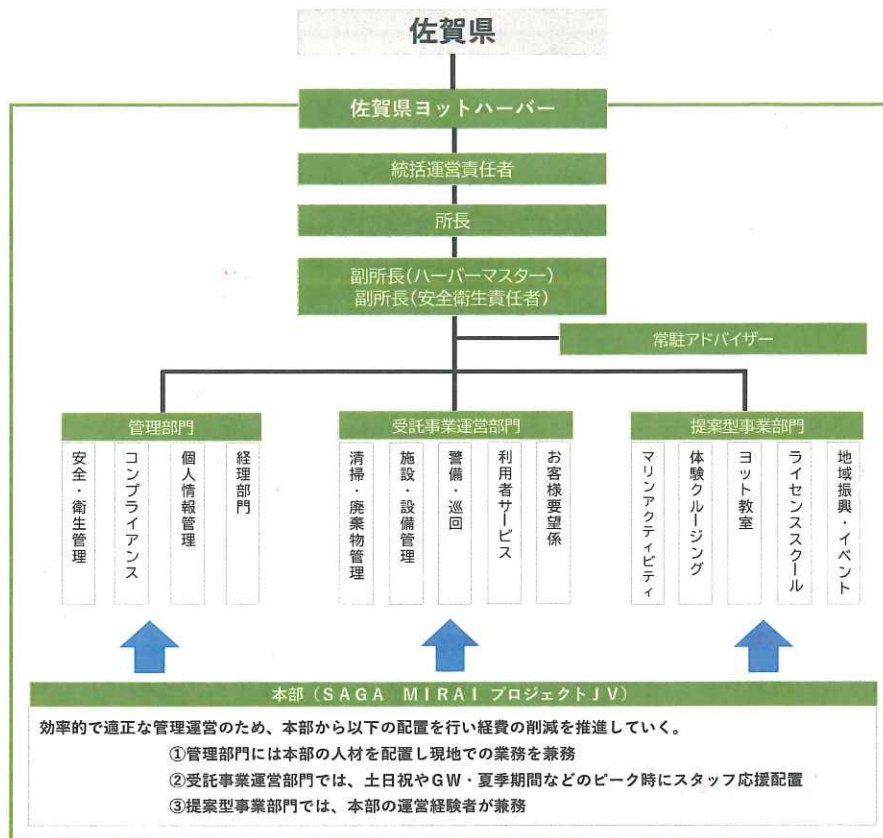
##### 6. 持続可能な社会実現への環境への取組み 【環境】

- 提案型事業を通じて佐賀県の水辺環境や自然環境などの問題へ積極的な取組み
- 従業員のワークライフバランスへの配慮を行い、健康で豊かな生活と健全な職場環境の実現

## 2. 管理運営組織の体制

ヨットハーバーの管理運営においては、県との緊密な協力・連携を図りながら、利用者の視点に立ち利用しやすく親しみの持てる運営を実施します。また、ヨットハーバーはヨット競技が開催可能な県内唯一の施設であることから、ヨット競技関係団体との緊密な連絡・調整を図るとともに、令和6年度に開催される SAGA2024（佐賀国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会）に向けた競技力向上の支援及び SSP 構想の推進に向けた取組を行います。

### 1) 運営体制



### 2) スタッフ配置

#### ◆運営統括責任者(場長)

運営統括責任者には、ハーバー全体を統括するマネジメントスキルとトレーニングスキルを持ち、自治体や企業との多くの事業実績やコネクションを持った業界歴30年以上の経験者を配置し、佐賀県や佐賀県ヨット連盟、地元マリン企業などとの連携とハーバーの利用促進を図れた。

#### ◆所長(2024年3月1日から)

教育プログラム受入増の対応やハーバー施設維持管理の対応強化のため、マリンスポーツインストラクター、土木1級施工管理技士および建設業経理士2級の有資格者で公共施設管理経験20年以上の経験者を2024年3月より配置し、体制強化を図った。

◆副所長(ハーバースター)

円滑で安全なハーバーの運営とヨット競技への協力のため、船舶免許の有資格者でヨット競技指導経験者を配置し、利用者やヨット競技の学生からの相談等への対応を行うほか、佐賀県高等学校体育連盟のヨット競技役員への協力等を行った。

◆副所長

円滑で安全なハーバーの運営のため、佐賀県ヨットハーバーの管理運営経験者を引き続き雇用し、佐賀県や地元各教育機関、教育旅行を担う玄海交流社との綿密な連携を図りハーバーの利用増進を図った。

◆安全衛生管理者

ハーバー利用者やスタッフの安全管理、佐賀県ヨット連盟と綿密な連携を図るため、ヨット競技に精通し佐賀県ヨット連盟推薦者を配置し、ヨット競技やマリンスポーツ体験を安全に事故なく遂行した。

◆常駐アドバイザー

佐賀県のヨット競技強化とSSP構想推進のため、日本セーリング連盟の理事として長年セーリング業界に貢献してきた [REDACTED] を常駐アドバイザーとして配置した。ヨット競技者の強化だけでなく、佐賀県ヨット連盟や佐賀県スポーツ協会等の団体、ハーバーと利用者との間に立ち、安全で安心な公平性のある施設運営を行った。

3) スタッフの雇用形態、人数及び勤務形態

配置職員表

役職	氏名	職員数	常勤	非常勤	担当事務内容
統括運営責任者(場長)	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	全体の統括責任者
所長(R6.3月)	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	ヨットハーバー運営管理責任者
副所長(ハーバースター)	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	ヨットハーバー運営管理副責任者
副所長	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	ヨットハーバー運営管理副責任者
安全衛生責任者	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	安全衛生責任者
常駐アドバイザー	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	セーリング指導者・ヨット関連団体との連携
財務・情報管理責任者	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	利用料金収受・経理・契約情報・個人情報管理
地域連携担当	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	地域振興や交流イベントの企画調整
お客様要望係	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	お客様の声の反映・地域や利用者の要望収集
施設管理責任者	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	施設維持管理
サービススタッフ	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	利用者サービス、簡易補修作業
	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	浮桟橋サービス・簡易作業
内務スタッフ	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	利用者サービス、事務作業
	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	浮桟橋サービス、事務作業

4) 営業時間

SAGA2024 のセーリング競技強化の観点から、佐賀県ヨット連盟等団体と協議し、開場時間について下記時間内で要望に沿った柔軟な対応を行った。

◆開場時間 基本的な営業時間 8:00~22:00 (14時間)

当JVの対応時間 6:00~23:00 (この時間内で要望に沿った時間対応を実施)

◆休業日 毎週火曜日及び年末年始 (12月29日~1月3日)

5) スタッフに対する研修の実施

これまでの経験と実績に基づく安全管理教育を中心に、海のプロフェッショナルとして知識と技術を持ち合わせながら顧客満足度の高いサービスを提供できるよう以下の教育訓練を実施した。

①接客研修

□接客・サービス研修（ハーバースタッフ、時期：11月）

グループのマリーナ部門や宿泊部門との交流を行い、接客・サービス研修を11月13日に実施しました。

□クレーム対応・不審者対応研修（管理者およびスタッフ・随時）

グループ施設内で発生したクレームや不審者発見時の対応など、QMS活動として発生事案・原因・対応等を所内スタッフで共有し、継続的改善を図っております。

The image shows a screenshot of a complaint handling record form. The form is titled '客诉・クレーム対応記録' (Complaint/Claim Handling Record). It contains several sections for recording details of a complaint, including the date, time, location, and a detailed description of the incident and the actions taken to resolve it. The text is in Japanese and appears to be a template for documenting such events.

(当グループ宿泊施設でのクレーム事例)

□OJT研修（管理者およびスタッフ・随時）

座学では体得しにくいお客様サービスを、経験スタッフが講師となり教育プログラム受入れや出港指導などオンザジョブトレーニング（OJT）研修を随時行いました。

□外国語対応研修（管理者およびスタッフ・随時）

翻訳機能アプリケーションやスマホ端末などの情報共有を行い、実際ダウンロードしての体験を実施した。



翻訳 GO 翻訳アプリ 日本語訳 (音声+カメラ翻訳機) ...  
日本語から英語翻訳 写真 画像 テキスト スピーチ機能  
MATeary  
iPhone対応  
検索履歴も、再翻訳  
★★★★★  
無料 アプリ内課金あり

②安全衛生教育

□新規入場者教育（対象：ハーバースタッフ、時期：4月、7月、9月、2月、3月）

スタッフの作業安全と利用者の安全管理のため、管理運営基準や出港基準などの教育を運営開始時および新規雇用時に実施しました。

参加：4月（運営開始メンバー）、7月 [REDACTED]、9月 [REDACTED]、2月 [REDACTED]、3月 [REDACTED]



□マリーナ安全会議（対象：管理者およびハーバースタッフ、時期：各月）

各月毎にヒヤリハットや危険予知活動、行事予定を共有するため、佐賀県との定例会の日に管理者・スタッフにて情報共有を実施した。

□JV安全協議会（対象：管理者、時期：各月）

ハーバー業務やお客様の要望の共有、運営状況の確認のため、毎月佐賀県との定例会後に昭和自動車との定例会を開催し、安全協議会および内部監査を実施した。



参加：



□安全大会（対象：管理者およびスタッフ、時期：11月）

各事業所の安全衛生活動やQMS活動の共有のため、11月に幹部および各事業所数名のスタッフが安全大会に参加し、安全管理活動の情報収集を図った。

参加：



□救命技能講習（対象：管理者およびスタッフ、利用者 時期：12月）

唐津消防署から講師を依頼し、JV管理者・スタッフ、佐賀県ヨット連盟や学生、その両親が参加してAED使用や心肺蘇生について体験を行った。



□マリーナ安全管理者講習会（対象：管理者およびスタッフ、時期：2月）

一般社団法人マリーナビーチ協会が主催する「マリーナ安全管理者講習会」だが、令和5年度は未開催により受講無し。

③テクニカル研修

□海上技能研修会（対象：ハーバースタッフ、利用者 時期：5月）

唐津オーシャンセーリングクラブが主催となり、海上保安部2名を講師として「海上安全教室」を5月21日に開催、ハーバースタッフと利用者12名が参加。



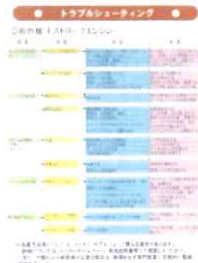
□設備・技術講習会（対象：ハーバースタッフ、時期：4月）

ハーバー利用者が利用するシャワーを稼働させるボイラーのトラブル対応のため、副所長による対応方法の現地研修を実施しました。



□船舶メーカー講習（対象：ハーバースタッフ、時期：5月）

元YAMAHAの機械整備士 ████████ 氏による、オートビルジ作動不良などトラブルシューティングのOJTを実施。トラブルへの応急対応に役立てられた。



#### ④災害対策訓練

□災害対策訓練（対象：管理者およびハーバースタッフ、時期：6月、3月）

災害時の避難誘導・通報訓練を法令に則り管理者およびスタッフにて実施しました。



□運行管理者研修会（対象：運行管理者、時期：9月）

不定期航路事業における運行管理責任者・運行管理者対象の国土交通省主催の研修会だが、当ハーバーのヨット教室・マリニアクティビティ体験は不定期航路事業対象ではないため未実施。

□地域を巻き込んだ防災訓練（対象：管理者およびハーバースタッフ、時期：12月）

唐津消防署から講師を依頼し、JV管理者・スタッフ、佐賀県ヨット連盟や学生、その両親が参加してAED使用や心肺蘇生について体験を行った。

（上述「救急救命講習」と同じ）



## ⑤ ノーマライゼーション研修

- 視覚聴覚障がい者対応研修（対象：管理者およびハーバースタッフ、時期：3月）  
公益財団法人日本補助犬協会が行う「補助犬デモンストレーション」を受講。

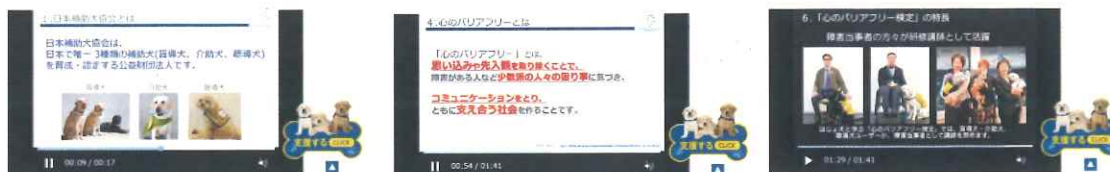


2024年3月17日「レトリバーフェスティバル」内で開催のデモンストレーションを受講（参加者：[REDACTED]）【会場：イバライド（茨城県）】

- 障がい者スポーツ講習会（対象：管理者およびハーバースタッフ、時期：3月）  
当ヨットハーバーのハンザを活用したパラセーリング体験会の実施などのため、JSAF（公益財団法人日本セーリング連盟）の障害者セーリング推進委員会とコミュニケーションを図っております。



- 補助犬ガイド士養成講座（対象：管理者およびハーバースタッフ、時期：11月）  
公益財団法人日本補助犬協会が開催する【初級】～心のバリアフリー検定～webにて受講



## ⑥ 協力会社研修

- 警備員研修（対象：当直者、時期：随時）  
通常夜間は機械警備となるため警備員の配置は行いません。大会時の当直があるため宿直スタッフに緊急時対応マニュアルと緊急時連絡体制の確認指導を行いました。
- 清掃員教育（対象：清掃員、時期：4月）  
施設内の急病人発見時や施設異常発見時に対応できるよう、清掃員に緊急連絡体制による情報伝達（ハーバースタッフへの第一報）の教育を実施しました。
- 提案型事業スタッフ研修（対象：協力会社、時期：随時）  
提案型事業はマリンアクティビティ体験がメインとなるので、当JVが決めている安全基準や緊急時連絡体制の教育を実施しました。（対象：KAISEI、藤川氏ほかKMAP協力スタッフ）  
その他教育プログラムを担当する「玄海交流社」にも気象海象によるプログラム変更についてレクチャーをしました。

## 6) ヨットハーバーに関する意見・要望・苦情への対応

日々の業務で得たお客様の要望や、地域の方・関係者の方からのご意見について以下の通り対応しました。

【利用者からの苦情や要望リスト】

日時	件名	内容	対応	備考（県相談後）
R5.5月	ハーバー更衣室の利用	部活の高校生保護者より以前はロッカーの中にライフジャケットを保管できたけど今はできないのか問合せあり。	ライフジャケットの保管にロッカーを利用させたことではない。県ヨット連盟とも連携し、ライフジャケットとも含めウエットスーツ類などは作業係に平すように指導している。	
R5.7月	一般市民のハーバー利用	近隣の住民の方より、持参のシーカヤックの発着にハーバーのスロープを利用したいとの要望あり。	他にも水上バイクやSUPのスロープ利用希望もあるが現状は安全性の問題からお断りしていることを説明し、今後については県とも相談しながら、料金設定や利用条件等を整理しながら利用が可能か検討していくことで納得いただいた。	
R6.3,10	クルーズヨットのオーナーから2号桟橋補修の要望	クルーザーオーナーより2号桟橋の連結部が破損している件に関して、修繕してほしいと要望あり。当該部分が破損した場合に、離れた桟橋が自壊に当たり被害が出るとのこと。	本体が流されないようにクリート同士をロープでつなぎとめている。	補修の予定

## 7) ハーバー施設利用の受付業務

### ①利用の受付

ヨットハーバー利用者から提出される利用許可申請書および施設使用の申込を受付け、佐賀ヨットハーバー管理運営業務仕様書の使用の制限の各項目に該当しないことを確認し、利用の許可、利用料金の徴収、利用料金の減免を行いました。

利用料については、《利用料金表》（別紙-1、別紙-2 参照）を参照。

利用料減免については利用料金表の該当利用者のほか、以下の大会、強化練習会について減免を行った。

- ・スプリングレガッタ兼 ILCA4 全日本大会
- ・全日本ジュニアユース交流選手権
- ・佐賀県県高校総体ヨット競技大会
- ・鹿児島国体に向けた予選会
- ・プレ国リハーサル大会
- ・佐賀県ヨット新人戦
- ・ICLA強化練習会

## 利用料金表

佐賀県ヨットハーバー

区分	利用単位	利用料金	減免料金
2階研修(大) 104.19㎡	午前(9:00～13:00)	4,400	2,200
	午後(13:00～17:00)	4,400	2,200
	終日(9:00～17:00)	8,800	4,400
	超過料金(1時間当たり)	1,650	830
2階研修室(中) 42.67㎡	午前(9:00～13:00)	3,840	1,920
	午後(13:00～17:00)	3,840	1,920
	終日(9:00～17:00)	7,680	3,840
	超過料金(1時間当たり)	1,440	720
3階研修室(小) 40.36㎡	午前(9:00～13:00)	3,080	1,540
	午後(13:00～17:00)	3,080	1,540
	終日(9:00～17:00)	6,160	3,080
	超過料金(1時間当たり)	1,160	580
冷暖房装置	2階研修室(大)	1時間当たり	330
	2階研修室(中)	1時間当たり	220
	3階研修室(小)	1時間当たり	220
浴室	風呂(大人5名、大学生以下10名以上)	1人当たり	220
	シャワー(1名から利用可)	1人当たり	110
	シャワー(高校生以下)	1人当たり	50
宿泊	小・中・高・大学生(10名以上)	1人当たり	660
	上記の引率者	1人当たり	1,430
	成人以上の一般利用(5名以上)	1人当たり	1,980
厨房	1日あたり	990	
艇置場	1日当たり	660	330
	1月当たり	8,800	4,400
	1年当たり	88,000	44,000
給水施設	30分	330	
給電施設	1時間	110	
救助艇	半日当たり	2,000	1,000
	1日当たり	4,000	2,000

## ※利用条件

- ・風呂、宿泊施設の利用は原則学生以下は10人以上、成人については5名以上をお願いいたします。
- ・宿泊時の寝具は持ち込みまたはレンタルの紹介とさせていただきます。  
レンタル寝具：夏用(5月～9月) 1,500円、冬用(10月～4月) 1,800円
- ・宿泊時のシャワー・風呂は別途徴収させていただきます。
- ・営業目的の利用はお断りする場合がございます。
- ・救助艇については別途燃料代を頂きます。

## ※減免の対象

- ・佐賀県居住者の就学生(大学生以下)
- ・佐賀県が認定した佐賀県ヨットハーバーで開催される大会への参加者
- ・佐賀県が指定した者
- ・その他佐賀県ヨットハーバーが妥当と認めた者

※水施設は減免の対象とはなりません。

## 別紙-2

浮棧橋料金表

区分	利用単位		利用料金	
			県内在住者	その他
1号 浮棧橋	長さ5m未満の船舶	1日	1,100	1,540
		1月	13,200	18,150
	長さ5m以上7m未満の船舶	1日	1,320	1,870
		1月	15,400	21,450
	長さ7m以上9m未満の船舶	1日	1,650	2,200
		1月	17,600	24,750
	長さ9m以上11m未満の船舶	1日	1,980	2,750
		1月	22,000	30,250
長さ11m以上の船舶	1日	2,640	3,520	
	1月	28,600	39,050	
2号 浮棧橋	長さ5m未満の船舶	1日	880	1,320
		1月	8,800	13,750
	長さ5m以上7m未満の船舶	1日	1,100	1,650
		1月	11,000	17,050
	長さ7m以上9m未満の船舶	1日	1,320	1,980
		1月	13,200	20,350
	長さ9m以上11m未満の船舶	1日	1,760	2,530
		1月	17,600	25,850
3号 浮棧橋	長さ5m未満の船舶	1日	880	1,320
		1月	8,800	13,750
	長さ5m以上7m未満の船舶	1日	1,100	1,650
		1月	11,000	17,050
	長さ7m以上9m未満の船舶	1日	1,320	1,980
		1月	13,200	20,350
	長さ9m以上11m未満の船舶	1日	1,760	2,530
		1月	17,600	25,850
長さ11m以上の船舶	1日	2,310	3,300	
	1月	23,100	33,550	

### 3. 年間の事業計画及びスケジュール

#### 1) スタッフに対する研修

ハーバー利用者や一般利用者の安全確保とサービス向上のため、以下の研修を実施しました。

種別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考	
接客研修	接客研修								実施						
	クレーム対応・不審者対応研修								随時実施					他事業所やハーバー内での事例にて対応情報を共有	
	OJT研修								随時実施						
	外国語対応研修								随時実施						
安全衛生教育	新規入場者教育	実施			実施		実施						実施	実施	
	マリーナ安全会議								毎月実施						毎月佐賀県との定例会後に船和自動車との定例会を開催し、安全協議会・内部監査を行った
	JV安全協議会								毎月実施						
	安全大会								実施						
	救命技能講習									実施					
	マリーナ安全管理者養成講習会														本年従未開催
テクニカル研修	海上技能研修会		実施												
	設備・技術講習会	実施													
	船舶メーカー研修		実施												
災害対策訓練	法定災害対策訓練			実施									実施		
	運行管理者等研修会													ヨット教室・マリンアクティビティ体験は不定期開催対象ではないため未実施	
	地域を巻き込んだ防災訓練									実施					
ノーマライゼーション研修	視覚聴覚障がい者対応研修												実施	補助犬デモンストレーション	
	障がい者スポーツ講習会													JSAF障害者セーリング推進委員会とコミュニケーション	
	補助犬ガイド士養成講座								実施					心のバリアフリーWEB講座受講	
コンプライアンス研修	コンプライアンス教育	実施			実施		実施						実施	運営開始時と新規入場時に実施	
	コンプライアンス通信							実施							
協力会社教育	警備員研修								随時実施					警備員の配置は無いため常駐スタッフへ実施	
	清掃員教育	実施													
	提案型事業スタッフ								随時実施					提案型事業協力会社だけでなく教育プログラム協力会社にも実施	

#### 2) 施設情報等の発信

本施設の利用促進のために、ホームページリニューアル及びスマートフォンを活用したSNS発信強化を図り、佐賀県ヨットハーバーの魅力と海洋性スポーツ・レクリエーションの楽しさを積極的に発信した。効果として、地元や教育プログラムの海洋体験が増えた。

《ホームページ》



《Instagram》





### 3) 利用者サービスの向上

利用者および地域の要望を運営に反映するため、図表-1のようなニーズの高いサービスを展開し、利用者満足度の高い運営を行って参ります。運用開始にあたっては、佐賀県のKMAPの整備及びSAGA2024国スポのスケジュールとの調整が必要なため、佐賀県と協議しながら進めます。

図表-1

種別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
ニーズの高い新たなサービス	お客様要望室(要望対応担当)の設置	準備期間	実施											※下記参照
	ライブカメラの設置							実施						ライブカメラを引継ぎ対応ホームページに連動を開始
	早朝出航者向け予約対応サービス								実施					早朝出航なく早朝練習等に対応
	気象海況情報のWEB/テレホンサービス								実施					ホームページを引継ぎ対応R6.3月ホームページリニューアル
	キャッシュレスサービス									準備期間(マリンショップ展開時に再検討)				マリンショップ展開時に合わせ検討中
	船具庫(船具用ロッカースペース)の増設										検討(育成棟完成後に再検討)			県での育成棟建築予定があるため、竣工後に検討。
	カート付き自転車の貸し出し									検討				現状利用者は台車で稼働しており、要望が無いため検討中
	業界関連団体の拠点事務所設置									検討				拠点を置くまでの要望がないため検討中
	キッチンカー、マルシェ、朝市の開催		準備期間			開催								
誰もが利用しやすい施設運営	海の駅	準備申請期間												認可・選招開始
	カルチャースクールの誘致	準備期間												運用開始
	障がい者セーリング体験会													準備中
	カフェの運営													準備期間 ※kmapでの整備及びSAGA2024(国スポ)の状況を踏まえ調整
	修学旅行・遠足の受入れ													実施
	夏祭り・ピアガーデン													KMAP・国スポとの調整のため再検討
	民泊・観光客の受入れ													現在ヨット会友関係のみ受入れ
	コワーキングスペース													準備期間
	国体強化選手のサポート													サポート実施
海洋性スポーツ・レクリエーションの振興 KMAPとの連携	ヨットハーバーフェスティバル					開催								
	唐津ビーチパーク													準備期間
	SAGAこども海洋塾													開催
	シニア/ジュニアヨット教室	準備期間												開催
	SUP/シーカヤック体験会													開催
	ウィンドサーフィンスクール													準備期間
	船舶免許教室													開催
	ビーチクリーン	準備期間												実施(西の浜KMAPエリアを定期的にスタッフで実施)
	唐津城クルージング													検討中
シーサイドマルシェ	準備期間												開催	

#### ※お客様要望室(要望対応担当)の設置について説明

計画書記載の通り、日々の業務で得たお客様の要望や、地域の方・関係者の方からの報告に対して計画的に遂行する要望対応担当の設置であるため、ハーバー建物内に専用の部屋を設置するという意味ではありません。

4) 海洋性スポーツ・レクリエーションの振興

海洋性スポーツ・レクリエーションの振興のため、当JVでは以下の活動を実施しました。

◆海洋体験・ヨット体験実施状況

大会名等	開催回数	参加人数
マリンスポーツ体験		
小中学生ヨット教室		
大人のヨット教室		
親子ウキウキヨット教室		
家族ヨット体験		
イベント時のヨット体験		
合計		

実施内訳

実施月日	件名	申込者数	参加人数
4月	19日(水) マリンスポーツ体験		
	26日(水) マリンスポーツ体験		
5月	10日(水) マリンスポーツ体験		
	17日(水) マリンスポーツ体験		
	17日(水) 大人のヨット教室		
6月	21日(日) ウキウキヨット教室		
	3日(土) 大人のヨット教室		
	7日(水) 大人のヨット教室		
	8日(木) マリンスポーツ体験		
	9日(金) 小学校ヨット体験		
	11日(日) 大人のヨット教室		
7月	15日(木) 小学校ヨット体験		
	2日(土) 大人のヨット教室		
	5日(水) 大人のヨット教室		
	7日(金) 小学校ヨット体験		
	14日(金) 小学校ヨット体験		
	26日(水) 家族ヨット体験		
8月	29日(土) イベント時のヨット体験		
	1日(火) マリンスポーツ体験		
	4日(金) マリンスポーツ体験		
	30日(水) 小学校ヨット体験		
9月	31日(木) 小学校ヨット体験		
	1日(金) 小学校ヨット体験		
	27日(水) 小学校ヨット体験		
10月	29日(金) 小学校ヨット体験		
	23日(月) 小学校ヨット体験		
11月	7日(火) マリンスポーツ体験		
	16日(木) マリンスポーツ体験		

◇ 海技免許教室

教室名等	開催回数	参加人数
ボート免許教室	14	27
水上バイク免許教室	19	123
合計	33	150

実施内訳

4月	2日(日)	ボート免許教室	1人	1人
	12日(水)	ボート免許教室	2人	2人
	15日(土)	ボート免許教室	1人	1人
	27日(木)	ボート免許教室	2人	2人
5月	10日(水)	水上バイク免許教室	2人	2人
	13日(土)	水上バイク免許教室	13人	13人
	24日(水)	水上バイク免許教室	11人	11人
	26日(金)	ボート免許教室	3人	3人
6月	7日(水)	水上バイク免許教室	6人	6人
	17日(土)	水上バイク免許教室	6人	6人
	26日(月)	水上バイク免許教室	6人	6人
	12日(月)	ボート免許教室	2人	2人
	25日(日)	ボート免許教室	4人	4人
	29日(木)	ボート免許教室	1人	1人
	30日(金)	ボート免許教室	2人	2人
7月	2日(日)	水上バイク免許教室	8人	8人
	12日(水)	水上バイク免許教室	6人	6人
	23日(日)	水上バイク免許教室	7人	7人
	24日(月)	水上バイク免許教室	4人	4人
	3日(月)	ボート免許教室	2人	2人
	7日(金)	ボート免許教室	2人	2人
8月	14日(月)	水上バイク免許教室	8人	8人
	19日(土)	水上バイク免許教室	3人	3人
	20日(日)	水上バイク免許教室	8人	8人
	30日(水)	水上バイク免許教室	6人	6人
9月	20日(水)	水上バイク免許教室	8人	8人
	30日(土)	水上バイク免許教室	3人	3人
	25日(月)	ボート免許教室	1人	1人
10月	12日(水)	水上バイク免許教室	7人	7人
	30日(月)	水上バイク免許教室	2人	2人
11月	19日(日)	水上バイク免許教室	9人	9人
	19日(日)	ボート免許教室	3人	3人
12月	10日(日)	ボート免許教室	1人	1人

◆ヨットレース開催状況

大会名等	開催回数	参加人数
スプリングレガッタ兼ILCA4全日本大会	1回	60人
全日本ジュニアユース交流選手権	1回	70人
佐賀県高校総体ヨット競技大会	1回	45人
鹿児島国体に向けた予選会	1回	23人
プレ国リハーサル大会	1回	1,748人
佐賀県ヨット新人戦	1回	50人
強化練習会	2回	7人

実施内訳

実施日	件名	参加人数
5月4日(木)～6日(土)	スプリングレガッタ兼ILCA4全日本大会	60人
5月5日(金)～7日(日)	全日本ジュニアユース交流選手権	70人
5月26日(金)～28日(日)	佐賀県高校総体ヨット競技大会	45人
7月22日(土)、23日(日)	鹿児島国体に向けた予選会	23人
9月16日(土)～18日(月)	プレ国リハーサル大会	1,748人
11月12日(日)	佐賀県ヨット新人戦	50人
5月10日(水)～15日(月)	ICLA7強化練習会	4人
5月29日(月)～31日(水)	ICLA8強化練習会	3人

5) SSP構想の推進

佐賀県ヨットハーバーは、ヨット競技におけるSSP構想の拠点として位置付けられているため、以下の取り組みを実施して参ります。

①ヨット競技強化に向けた人員配置

佐賀県のヨット競技強化とSSP構想推進のため、日本セーリング連盟の理事として長年セーリング業界に貢献してきた「XXXXXXXXXX」を常駐アドバイザーとして配置し、ヨット競技者の強化だけでなく、佐賀県ヨット連盟・唐津市ヨット連盟や佐賀県スポーツ協会との連携を図りSSP構想を推進してまいりました。

②ジュニアアスリートの育成

佐賀から世界に挑戦するトップアスリートを育成するSSP構想に共感し、スポーツ文化の裾野を広げる事業に協力した。その中で、「スポーツの振興」と「児童生徒等の健康の保持増進」を図る組織「JAPAN SPORT COUNCIL」（日本スポーツ振興センター）による地域タレントの「ワールドクラス・パスウェイ・ネットワーク」に加盟し、ジュニアアスリートの育成を推進した。



JAPAN SPORT  
COUNCIL



SSP構想(SAGAスポーツビレッジ構想)



内容：「JAPAN SPORT COUNCIL」にセーリング競技を加えて頂く活動を行い、佐賀県 SSP が実施している「サガスカウト」に佐賀県ヨット連盟と参加しジュニアアスリート育成を実施。また佐賀県スポーツ協会と佐賀県ヨット連盟が実施している「スポーツトライアル」にハーバースタッフが指導者として参加しジュニアアスリート育成に大きく貢献している。その他常駐アドバイザーが地元高校生指導、インターハイ引率などの協力を行った。令和5年10月にシンガポールのユースナショナルチームの受入れを行い、地元高校生との交流やレベルアップを図った。



サガスカウトでの指導風景



シンガポールチーム受入れと地元との交流

#### 6) 競技力向上に向けたヨット競技団体への協力・支援等

競技力向上のためヨット競技団体への協力・支援および連携を図りました。

##### ①佐賀県ヨット連盟への協力・支援

セーリング競技の強化のため九州選手権や選抜競技会など佐賀県ヨット連盟への協力を実施した。

協力内容：早朝開場、会場設営応援（重機操作運搬等）、競技ヨットの曳航やレスキュー

陸上本部対応（無線傍受・本部への連絡）、コピー貸出、荷物・弁当預かり等

##### ②関連団体・学校との連携や協力

佐賀県ヨット連盟や唐津市ヨット連盟のほか、佐賀県高等学校体育連盟など学校関係の団体にも積極的に連携・協力し、競技役員の派遣等を実施しました。

ヨットクラブ	玄海セーリングクラブ 玄海セーリングジュニアクラブ B&G虹の松原海洋クラブ
大学ヨット部	佐賀大学
高校ヨット部	唐津東高等学校 唐津西高等学校 唐津工業高等学校 早稲田佐賀高等学校



#### 7) SAGA 2024 への協力

SAGA 2024（国スポ・全障スポーツ）セーリング強化選手のサポートと、佐賀県スポーツ協会／唐津市スポーツ協会及びSSP推進局との綿密な連携を図るため、ヨット競技連絡会へ参加し、佐賀県のヨットハーバーとしてSAGA 2024への協力を行って参りました。





8) 地域との連携と利用促進

佐賀県ヨットハーバーが広く県民や地域に受け入れられ利用促進を図るため、佐賀県・唐津市・地域住民・企業・学校・地域団体など多様な主体との連携を図り、ヨットハーバーと周辺地域の活性化に繋がるよう以下の活動を実施しました。

連携する団体	方向性
唐津里浜づくり推進協議会	唐津海浜地域の防犯・美化活動・イベントを通じた地域の活性化の取り組み
唐津市商工会・唐津市青年会議所	積極的な会合への出席による意見要望の収集、相互的なイベントの協力
佐賀県ヨット連盟／唐津市ヨット連盟	地域の子供たちへのヨット教室の共開、SAGA2024 への協力
唐津市漁港／佐賀玄海漁業協同組合	航行の安全への協力
トライアスロンなど他競技団体	ヨットハーバー施設の利用促進と佐賀県のスポーツ振興

9) 建築物及び設備等の保守管理

佐賀県ヨットハーバー利用者の安全と施設や設備の機能保全のため、以下の施設管理を実施しました。

表-4 《施設維持管理業務実施一覧表》

業務内容	委託先	計画	実 施 月												備 考
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
日常清掃	総合施設 メンテナンス	予定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10~13日/月、 年間144日
		実績	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
定期床（全階）清掃		予定		○			○				○			○	年4回
		実績		●			●				●			●	
窓清掃		予定					○				○				年2回
		実績					●				●				
空調定期点検整備		予定		○		○		○		○			○		年5回 7/11回-4回
		実績		●		●		●		●			●		
給湯ホ 17-点検整備		予定				○							○		年2回
		実績				●							●		
貯水槽清掃		予定								○					年1回
		実績								●					
消防設備保守点検		予定					○						○		総合1回 外観1回
		実績					●						●		
電気保安管理点検	九州電気保安協会	予定	○		○		○		○		○		○	隔月	
		実績	●		●		●		●		●		●		
施設警備・巡回	西九州警備保障	予定	開場時間以外常時機械警備											機械警備	
		実績	開場時間以外常時機械警備												
昇降機保守点検	三菱電機ビルテクノサービス	予定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	・リモート点検毎月 ・定期検査年1回(6月) ・定期点検年3回(4月,9月,12月)
		実績	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
浄化槽保守点検	環境技研	予定						○					○	年2回	
		実績						●					●		
一般廃棄物収集	西村セブザース	予定	週3回定期回収											定期	
		実績	週3回定期回収												

## 4. 提案型事業について

### 1) 利用者増につながる取組み

海洋性スポーツ・レクリエーションの振興とハーバーの利用者増の取組みとして以下の取組みを実施しました。



《ハーバーフェスティバル》



《地元中学校海洋体験》



《カヤック体験》



《ハンザ体験》



《ロープワーク教室》



《SUP体験》

### 2) 海の駅取組み

魅力ある「さが海の駅」として、シャワーや休憩利用だけでなく利用者へのサービス向上のため、マリショップの展開を準備し、多彩なサービスの提供と新たな魅力を積極的にアピールしました。



### 3) KMAPとの連携

佐賀県の唐津が誇る自然や観光資源を活かしたマリンアクティビティ普及の取り組み「KMAP」事業を推進するため、佐賀県政策部 MIGAKI 担当と連携を図りアクティビティを提供しております。

#### ①KMAP のフラッグシップ唐津城をブランドとした「Castle Bay」



#### ②ヨットハーバーにKMAP総合受付を設置

佐賀県ヨットハーバー内にKMAP総合受付を設置し、予約受付とマリンアクティビティ体験の機材レンタルや準備・インストラクター手配・警戒艇配置・マリンショップ整備などを進めました。



#### ③観光協会等との連携

唐津を拠点としたKMAPを含めた教育旅行プログラム（歴史・文化・体験）と連携するため、唐津市観光協会へ入会し、情報収集および海洋体験コンテンツの提供と、教育旅行誘致、観光・海洋性スポーツ・レクリエーションの普及を図っております。





## 5. 管理運営業務に関する収支計画

### 【収入】

区 分	令和5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
借入金	47,465,000	3,926,000	3,926,000	3,926,000	3,926,000	3,926,000	3,926,000	3,986,500	3,986,500	3,986,500	3,986,500	3,986,500	3,976,500	
その他の収入	9,432,226	870,986	1,153,299	620,973	495,612	689,812	338,214	1,896,124	822,050	68,000	163,863	94,895	2,218,398	
（内訳）	提案型事業収入	2,721,327	140,646	160,729	396,443	223,712	551,212	230,064	210,132	487,706	27,770	74,030	204,648	
	ハーバー内 提案型事業	HARBOR マルシェ（イベント）	175,110	0	0	0	94,850	69,710	0	10,550	0	0	0	0
		ポート免許	152,970	12,000	8,000	9,000	12,000	12,000	91,970	5,000	3,000	0	0	0
		自費機設置（電気代）	158,670	0	15,819	14,373	23,862	23,982	42,594	12,696	7,422	5,517	5,346	2,985
		ヨット教室	65,000	0	7,000	21,000	31,000	0	0	3,000	0	0	0	3,000
		海洋存続（浮ドック、浮ドック）	1,350,420	122,100	114,590	352,070	62,000	370,020	95,500	22,500	211,640	0	0	0
		修理	576,401	6,546	0	0	0	0	0	60,500	209,594	22,253	68,684	8,250
		その他（コピー・レンタル等）	242,756	0	15,320	0	0	75,500	0	106,436	45,500	0	0	0
	利用料金収入	施設利用料	4,600,750	687,320	895,310	212,620	235,870	105,660	97,170	210,610	64,040	23,510	35,280	45,460
		手数料	2,110,149	43,020	97,260	11,910	36,030	32,940	10,980	1,475,382	270,304	16,720	54,553	35,200
合 計（A）	56,897,226	4,796,986	5,079,299	4,546,973	4,421,612	4,615,812	4,264,214	5,882,624	4,808,550	4,054,500	4,150,363	4,081,395	6,194,898	
（内訳要消費税）	5,172,479	436,090	461,755	413,362	401,965	419,620	387,656	534,784	437,141	368,591	377,306	371,036	563,173	

### 【支出】

区 分	令和5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人件費	29,681,808	2,393,153	2,520,864	2,497,309	2,309,191	2,436,170	2,707,965	2,479,417	2,417,990	2,447,705	2,408,937	2,443,939	2,619,168
（内訳）	常勤職員	18,415,855	1,504,951	1,559,927	1,540,000	1,307,756	1,517,031	1,742,813	1,540,938	1,510,000	1,510,000	1,510,000	1,662,439
	雑給	3,346,600	235,700	287,800	209,400	393,600	265,000	283,900	281,200	261,000	287,500	276,000	309,500
	法定福利費	2,589,633	200,352	233,757	221,129	171,435	218,799	244,872	222,879	217,110	219,815	192,497	195,679
	福利厚生費	363,000	35,000	20,000	108,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
	出張交通費	166,720	17,150	19,380	18,780	16,400	15,340	16,380	14,400	9,880	10,390	10,440	8,760
	出張自給金	4,800,000	400,000	400,000	400,000	400,000	400,000	400,000	400,000	400,000	400,000	400,000	400,000
施設維持管理費	3,756,790	218,020	409,210	248,430	217,580	394,130	242,030	272,580	217,500	217,500	261,500	493,130	
（内訳）	清掃委託費	1,913,760	155,320	154,880	154,880	154,880	154,880	154,880	209,880	154,800	154,800	154,800	154,880
	設備委託費	268,950	13,200	13,200	13,200	13,200	13,200	13,200	13,200	13,200	13,200	57,200	
	点検委託費	1,574,080	49,500	241,130	80,350	49,500	226,050	73,950	49,500	49,500	49,500	49,500	
事業費	15,527,098	1,253,278	1,034,636	1,556,424	1,512,566	1,642,916	1,269,410	1,406,565	1,342,871	1,127,747	1,150,718	1,078,370	
（内訳）	提案型事業	1,064,700	19,000	56,600	158,200	217,000	92,900	141,000	70,000	60,000	85,000	55,000	55,000
	費用	5,260,427	386,209	299,010	495,020	526,061	664,826	405,049	562,606	542,838	291,745	88,587	330,756
	修繕費	1,163,911	0	92,620	45,760	138,418	159,300	99,000	159,920	136,600	96,720	92,117	34,464
	保険費	1,105,309	264,369	7,486	299,219	55,909	79,485	68,311	54,051	47,603	61,958	58,304	60,630
	その他経費	332,751	33,700	28,920	8,225	25,178	96,405	6,050	9,988	5,830	42,324	6,710	47,520
	一般管理費	6,600,000	550,000	550,000	550,000	550,000	550,000	550,000	550,000	550,000	550,000	550,000	550,000
小 計（B）	48,965,696	3,864,451	3,964,710	4,302,163	4,039,337	4,473,216	4,219,405	4,158,562	3,978,361	3,792,952	3,821,155	4,015,439	
支払消費税（C）	2,983,028												
法人税（D）	1,801,976												
収支（A-B-C-D）	3,146,526	937,535	1,114,589	244,810	387,275	142,596	-1,348,488	1,724,062	830,189	261,548	329,208	65,956	